久利生公平、最大の危機。

9.8 sat Roadshow

ファンクラブ・アクアリング・お問合
シネマメディアージュ
03.5531.7878
通常料金での全席指定・定員入場制
http://www.cinema-mediage.com

伝説のドラマが遂にスクリーンに登場

シリーズ平均視聴率34.3%の超人気ドラマ、いよいよ公開。

2001年に木村拓哉主演でフジテレビ系列にて放送された大ヒットドラマ「HERO」物語は、「中卒」の「スーツを着ない」型破りの「検事」、主人公・久利生（くりゅう）公平が、事件の大小に関わらずに"真実"を追い求める姿を軸に、軽快でサスペンスフルに展開。加えて、久利生の事務官・雨宮舞子（松たか子）、そして東京地検・城西支部の同僚たちを、個性溢れる豪華キャストが演じ、仕来りと縦社会に生きる彼らが少しずつ久利生に感化されていく様を群像劇の形で見せていきました。木村拓哉が演じる"実在のごとき存在感"のあるこの斬新なキャラクターは、まさに世の人々が待ち望んだ新しいヒーローとして、日本中の視聴者から圧倒的な支持をもって迎えられました。その結果、全エピソードの世帯平均視聴率が30%を超える驚異的な数字を獲得、また、5年ぶりの放送となった昨年夏のテレビスペシャルでも30.9%という記録をたたき出したのです。そして全国のファンが待ち望む"伝説のドラマ"の映画版が、2007年9月いよいよスクリーンに登場します。

牛丸　豊（角野卓造）
検事。刑事部長。曲者ぞろいの城西支部をとりまとめる。最近、血圧が気になっている。

遠藤賢司（八嶋智人）
芝山検事の担当事務官。城西支部内の噂を収集するのが大好き。趣味は合コン。

芝山　貢（阿部 寛）
久利生の同僚検事。現在、離婚調停中!? 娘に嫌われることをものすごく恐れている。

雨宮舞子（松たか子）
久利生の担当事務官。久利生の姿に、多くの影響を受ける。性格は極めて真面目。

久利生公平（木村拓哉）
最終学歴は中卒。"スーツを着ない"異色の検事。エリート検事らとは違う独特の視点や人間観察眼を持つ。通販で買い物が趣味。

中村美鈴（大塚寧々）
久利生の同僚検事。才色兼備の検事として活躍するが、キツイ性格の持ち主。

江上達夫（勝村政信）
「城西支部のエース検事」と同僚たちにおだてられ、上手く利用されている。

末次隆之（小日向文世）
江上検事の担当事務官。いつも江上の機嫌次第で理不尽な仕事を言いつけられる。

鍋島利光（児玉 清）
東京地検次席検事。冷静沈着なリベラリスト。久利生を暖かく見守る。

この伝説の国民的ドラマ映画化には超ビッグなゲストが登場。主人公の久利生公平が、最強のライバル弁護士の出現によって検事人生で最大の危機に瀕することがストーリーの大きな軸になる中、その弁護士・蒲生（かもう）一臣役に、歌舞伎界を代表する一人、松本幸四郎が挑みます。刑事裁判無罪獲得数日本一という豪腕弁護士を独特な存在感で演じ、久利生公平を真綿で首を絞めるが如く窮地に追い込みます。

そして、日本を代表するエンターテイナー・タモリが、森田一義の名で参加。久利生検事と蒲生弁護士が争う刑事事件に絡む大物代議士・花岡練三郎という、ストーリーの鍵を握る役を演じます。また、シリーズ初の海外ロケには、韓流スターのイ・ビョンホンが日本映画初出演にして木村拓哉と初共演を果たします。

さらに、昨年夏のテレビスペシャルに出演した中井貴一が同じ役柄で出演し、綾瀬はるかも登場。香川照之、国仲涼子、岸部一徳ら日本を代表するキャスト陣も勢揃いし、超豪華なドリーム・ムービーの誕生に華を添えます。

松たか子、大塚寧々、阿部 寛ら城西支部のレギュラー陣に加え、松本幸四郎ら超豪華ゲストの登場。そして昨年のテレビスペシャルとリンクしたストーリー構成。『HERO』映画化には盛りだくさんの話題にあわせて、気になる久利生と雨宮の関係まで含め、シリーズ放送から6年にわたる歴史の集大成的スケールとなります。2007年・夏の終わりに誕生する日本映画の新たなる歴史の瞬間を、是非、スクリーンでお確かめください。

日本映画最高峰のキャスティングが実現!!

初の海外ロケも加わった超豪華なストーリー展開。すべてのファンに贈る、シリーズ集大成となる感動のドラマ。

STORY　東京地検・城西支部の型破りの検事・久利生公平（木村拓哉）は、同僚の芝山検事（阿部 寛）が起訴したある事件の裁判を任される。容疑者が既に犯行を認めている簡単な事件だったが、初公判で一転、無罪を主張。久利生の前に刑事事件無罪獲得数日本一の弁護士・蒲生一臣（松本幸四郎）が立ちはだかる。新聞にも大きく扱われなかった事件を豪腕弁護士が担当することに戸惑う久利生に対し、蒲生は冷静かつ様々な戦術で、今まで経験をしたことのない窮地に久利生を追い込む。一方、東京地検特捜部の黛検事（香川照之）が近づき、この事件の判決が、大物代議士・花岡練三郎（森田一義）の贈収賄事件の鍵を握っているという。騒然となる城西支部。久利生にしても花岡とは過去に因縁のある相手であったが、あくまでも自分が担当する事件の真実を明らかにしようと事務官の雨宮（松たか子）と奔走。城西支部の面々も捜査に協力し、漸く得た情報をもとに二人は韓国・釜山へ向う。東京地検は韓国のエリート検事カン・ミンウ（イ・ビョンホン）に捜査協力を要請するのだが……。